



十勝港まつり「陣屋太鼓」による迫力ある演奏（8月4日 十勝港）

ひろお 議会だより

No **187**

2018年9月1日発行



平成30年は
広尾町150年

【平成30年第2回定例会】

独法化へ向け、定款を制定 国保病院

一般質問（5人が登壇）

／臨時職員／国保／教職員の時間外勤務

議会モニター会議 **議会運営に反映**

より開かれた議会に 平成30年議会報告会開催

2

6

11

12

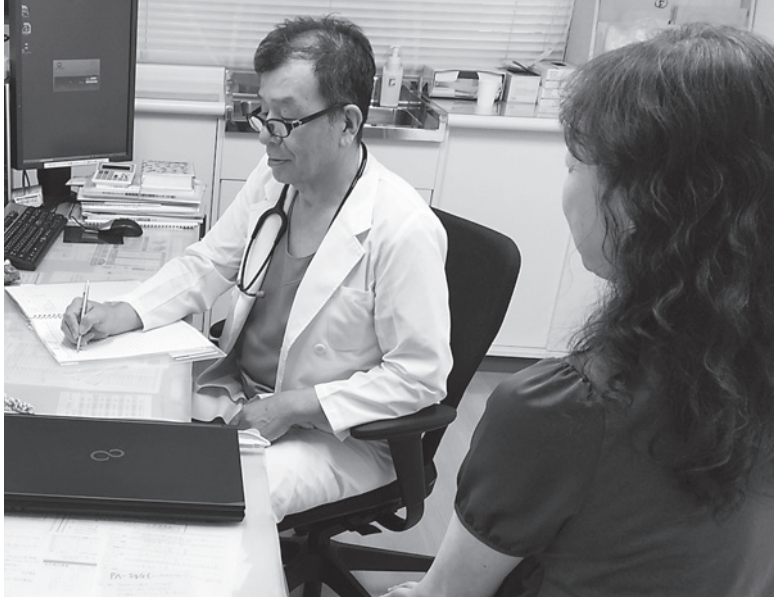
○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

国保 病院

独法化へ向け、 定款を制定

平成30年
第2回
定例会
6/7～11



平成30年第2回定例会は、6月7日（木）から11日（月）までの5日間の会期で開かれました。国保病院の地方独立行政法人化に向けての定款や評価委員会条例の制定、条例の一部改正、補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

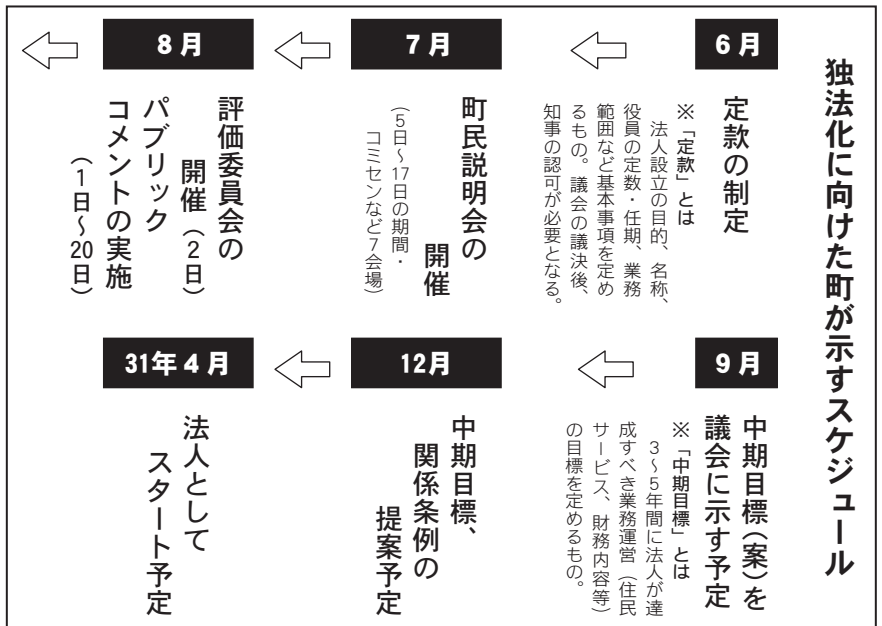
国保病院の経営形態を地方独立行政法人（非公務員型）へ移行するための第1段階として、法人設立に必要な「定款」を制定しました。

また、法人は病院経営の指針となる中期目標を定める必要があり、その策定や変更、役員報酬の支給基準などに意見をいただく評価委員会の関係条例を制定しました。

町は6月8日付けで総務課内に移行準備室を設置。今後はパブリックコメント（まちづくり意見公募）や有識者による評価委員会からの意見を参考に中期目標を作成し、議会に関係条例とあわせて提案、議決を経て北海道知事に法人設立の認可申請を行う予定となっています。

議会は、「独法化」が病院経営を改善するための最善策となるのか、今後も十分議論していきます。

独法化に向けた町が示すスケジュール



問 一般的には2～3年の準備期間が必要だが、移行手続きの進捗状況は。

答 財政収支計画を含めた中期目標を北斗病院と協議し作成中であり、中期計画もあわせて内容を精査している。北海道とも同時進行で協議を行っている。

問 予算・決算の権限は理事会にあるが、運営負担金の内容など議会は関与できるのか。

答 予算等は町と法人で精査し理事会で決定する。町から支出する運営負担金は議会に提案するため、そこで審議していただきたい。



※「中期計画」
中期目標を達成するために法人が作成する計画。町長が認可し議会へ提案・議決後、公表される。



平成30年度はイラストを公募しているよ!



北方圏交流振興会の
決算状況
 サンタメール申込件数は、3863件で1万8080通（昨年比25.8%増）を発送。事業収益は25万8753円（昨年比53万8851円減）となった。



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

サンタメール発送数 3年ぶりに増加

	申込件数	発送通数	前年度比
平成25年度	6116件	1万7507通	7.2%
平成26年度	7255件	2万2345通	27.6%
平成27年度	6207件	1万8483通	△17.3%
平成28年度	4640件	1万7822通	△3.6%
平成29年度	3863件	1万8080通	1.4%

**水産加工排水処理
 会社の決算状況**
 排水処理量は2万3984m³、事業収益は3万2279円となった。

その他決まったこと

- ◎事業実施に伴い、「辺地計画」、「過疎地域自立促進市町村計画」を変更しました。
- ◎行政改革大綱に基づき、漁村環境改善総合センターの運営委員会を廃止しました。
- ◎人事院規則の一部改正に伴い、夜間看護業務手当を引き上げました。

予算審査特別委員会

委員長 浜頭 勝
 副委員長 浜野 隆
6/7, 11

一般会計ほか8会計の平成30年度補正予算案9件を、6月7日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

平成30年度 補正予算の内訳

一般会計 ③	75億7604万円	714万円	増
港湾管理特別会計 ①	1億900万円	※増減なし 財源内訳の補正	
簡易水道事業特別会計 ①	6918万円	1万円	減
下水道事業特別会計 ①	4億466万円	216万円	増
国保事業勘定特別会計 ①	10億3889万円	3889万円	増
介護保険特別会計 ①	6億7248万円	38万円	増
介護サービス事業特別会計 ①	2億8019万円	1449万円	増
国保病院事業会計 ①	収益的収入・支出 8億6490万円	63万円	増
水道事業会計 ①	収益的収入 1億6592万円	2万円	減
	収益的支出 1億7939万円	6万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

国保病院独法移行 関連予算

移行準備委託料 **378万円**
 不動産鑑定評価委託料 **138万円**
 病院評価委員報酬等 **101万円**
 病院財務会計システム **134万円**

独法移行準備費のほか電子カルテシステム(8840万円)導入の予算などを追加しました。

問 移行準備委託料の内容容は。
答 法人移行への各種事務手続き、中期目標・中期計画の作成支援など全面的なサポート業務となっている。

問 町が設立する法人であるのに、不動産鑑定評価が必要なのか。
答 出資する財産は、地方公共団体が評価した価額とし、学識経験者に意見を聴かなければならないと法に定められている。

問 寄附金に占めるコストの割合が大きいのではないか。
答 広告宣伝費は寄附金の5%以内とするなど、コストを意識しながら進めている。

最小限の費用をもって最大の効果を上げられるよう、今後も取り組んでいく。

ふるさと納税事業 159万円

ふるさと納税推進にかかる印刷製本費、通信運搬費、広告料を増額しました。



次のページは「意見書・議案賛否・議員の出欠」

実態にあった法整備を 学校現場の働き方改革



～意見書4件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。



より充実した学校教育のために

学校現場の働き方改革は、法と実態が乖離している現状の改善なくては成し得ない。よって、教職員の長時間労働解消に向け、給特法の廃止を含めた見直しを行うことを求める。

また、自治体基金は税収減や地域の政策課題に対応する目的で積み立てており、地方財政計画に反映させて地方交付税を削減するべきではない。財政健全化目標を達成するために歳出削減が行われた結果として、サービスが抑制・削減されれば、住民生活と地域経済に大きな影響を与えることは明らかである。よって、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、地方一般財源総額・社会保障予算の確保、防災・減災事業の拡充などを求める。

これまで種子法に基づき、稲・麦・大豆など主要農作物の種子の生産・普及のための施策が実施されてきたが、今後種子価格の高騰、地域条件等

に適合した品種生産などの衰退が心配される。また、長期的には世界の種子市場を独占する遺伝子組み換え企業が日本市場を支配していく懸念も指摘されている。将来にわたって北海道の優良な種子が安定的に生産・供給され、生産者が安心して営農に取り組み、高品質な道産農作物が消費者へ提供できるよう、北海道独自の主要農

作物の種子に関する条例を早期に制定することなどを強く要望する。



主要農作物の一つである小麦

①
教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書

提出者 北藤利通議員

厚生労働省が過労死や災害認定の目安としている月80時間超の残業に相当する教職員が、小学校33・5%、中学校57・6%に達している。教職員の長時間労働に歯止めがかからない大きな要因には、時間外労働が常態化している学校現場の実態と著しく乖離している給特法の存在がある。

②
2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 志村國昭議員

地方自治体は、人口減少対策など新たな政策課題に直面しているが、社会保障費の圧縮や地方財政をターゲットとした歳出削減に向けた議論が加速しており、客観・中立であるべき地方交付税制度の根幹を揺るがしかねない。

③
ケアプラン点検による利用制限、ケアプラン有料化に反対する意見書

提出者 旗手恵子議員

平成26年に介護支援専門員（ケアマネジャー）が作成する介護支援計画（ケアプラン）の有料化などが提案されたが、世論の反対等を受けて実施が見送られてきた。現在、厚生労働省は、訪問介護の生活援助を1

日1回以上利用する場合、ケアマネジャーの市町村への届け出を義務付け、保険者にケアプラン点検を行わせる方針である。高齢者とその身近な専門家として接するケアマネジャーなどの当事者や多くの介護事業所が反対しているケアプラン点検による利用制限、ケアプラン有料化を実施しないよう求める。

優れた道産種子を守って！

④
北海道主要農作物種子条例の制定に関する意見書

提出者 浜野 隆議員

わが国の食と農を支えてきた「主要農作物種子法（種子法）」が今年4月1日に廃止された。

将来にわたって北海道の優良な種子が安定的に生産・供給され、生産者が安心して営農に取り組み、高品質な道産農作物が消費者へ提供できるよう、北海道独自の主要農

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣～①②③、財務大臣・内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革担当）～①②、文部科学大臣～①、経済産業大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）～②、厚生労働大臣～③、北海道知事～④

平成30年 第2回定例会 議案審議結果

●第2回定例会では、賛否のあった議案はありませんでした。(全て全会一致)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成30年3月定例会終了後～平成30年6月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田 _こ 英勝	小田 _お 雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容		隆												
5/16	第2回臨時会(条例改正、補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/7	第2回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/8	第2回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
6/11	第2回定例会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		4日	出席日数計		4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田 _こ	小田 _お	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
4/16	国保病院のあり方に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/7	国保病院のあり方に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
5/8	議会広報編集会議		○	-	-	○	○	-	○	×	-	×	-	-	-
5/16	第2回総務常任委員会(正副委員長互選)		○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-
5/16	第2回産業常任委員会(正副委員長互選)		-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	-
5/16	第5回議会運営委員会(正副委員長互選)		-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
5/16	第3回議会広報特別委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○
5/28	国保病院のあり方に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/4	第6回議会運営委員会		-	-	×	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
6/7	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6/7	議員定数等に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/11	予算審査特別委員会(補正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6/11	議会広報編集会議		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
 ※予算審査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。
 ※各常任委員会・議会運営委員会は5月16日から委員が変更となっています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田 _こ	小田 _お	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
4/16	第3回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/7	議員研修会(地方独立行政法人制度(非公務員型))		○	○	遅	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
5/22	議会報告会(豊似・2班)		-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○
5/22	議会報告会(音調津・1班)		○	-	-	-	○	○	×	-	-	○	○	○	○
5/28	議会報告会(コミセン・全議員)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/7	第4回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について報告を求めたり、疑問をたずねることであります。

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

6月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちん」

●一般質問 項目一覧

志村國昭議員	臨時職員の早期待遇改善を	P 6
北藤利通議員	災害に備え楽古川上流に橋を	P 7
旗手恵子議員	求む！高齢者・社会的弱者の国保税負担軽減	

前崎 茂議員	教職員の時間外勤務の改善を	P 8
	町立病院の独法化 収支改善の見込みは	
おだ 小田雅二議員	商品券の未使用をゼロに	P 9
	どう向き合う？子どもの貧困へ	

質問 地方公務員法及び地方自治法の改正により、臨時職員等は「会計年度任用職員」と位置付けられ、期末手当の支給など「同一労働・同一賃金」が推進される。常勤的な職務に就く臨時職員は「正職員にすべき」と繰り返し申し上げてきたが、「困難」との答弁に終始されている。医療・福祉職の相次ぐ退職、転職で人手不足が生じている現状を踏まえると人材確保は待ったなしの課題である。臨時職員の意見、要望を聞き取るなど、労使が理解を深め、2年後の法施行を待たず、早期に待遇改善を実施すべき。

答弁 村瀬町長 現在、会計年度任用職員制度導入に向け、情報収集を行うとともに、特別養護老人ホーム等の施設職員については、直接副町長が聞き取りを行うなど取り組んでいる。これまでも臨時職員の待遇については、期末手当に相当する割増賃金の支給や有給・忌引休暇の拡充など改善を図ってきたが、介護・看護職員においては退職等による人材不足が生じている。



人材確保には働きやすい環境整備が必要



しむら 志村國昭 議員

臨時職員の早期待遇改善を

町長 施設職員の早期改善を検討

早期改善を検討

制に改正し、毎年昇給とするなど、待遇改善を前倒しして実施できないか検討している。今後さらなる情報収集に努め、本町に合った制度内容としたい。



北藤利通 議員

災害に備え

楽古川上流に橋を

町長 帯広・広尾自動車道の要請とあわせて取り組む

質問 本町の重要な官庁機関は、広尾市街地に集中している。いつ発生してもおかしくない大地震による大津波(29・4m)が予測されているが、楽古川には橋梁が1か所しかなく、海抜13mと大津波による崩落の危険性がある。

重要港湾となっている十勝港がある中で、何も対策を講じていない現状に、住民は驚きと不安を感じているのではないかと、近年人口が減少しており、本町で生活することに幸せを感じ、安心して暮らしていける「まちづくり」を進めるためには、災害に備える橋の建設が必要ではないか。

答弁 村瀬町長

津波により楽古橋が崩落する可能性は高く、災害時の緊急輸送ルート、救急搬送の確保に大きな影響が出ることを考えられる。現在、早期全線開通に向け全力で取り組んでいる高規格幹線道路帯広・広尾自動車道は、「減災・防災」、「産業振興」、「医療」、「観光」の4つを目的としており、災害対策の橋の建設を含めて、期成会など関係機関と連携しながら要請活動等に取り組んでいる。豊似から広尾市街地までの区間が事業採択された際には、

津波にも対応できる楽古川上流に橋が建設されるルートとなるよう要望していきたい。



今後30年以内に北海道東方沖で超巨大地震発生の確率が最大40%と予測

求む！高齢者・社会的弱者の国保税負担軽減



旗手恵子 議員

町長 町独自では難しいため、引き続き国に要望する

質問 国保制度開始当初は、加入世帯の7割が農林水産業と自営業だったが、現在は無職と非正規労働者が8割近くを占めており、平均所得も270万円であったのが138万円と落ち込んでいる。高齢者と社会的弱者の保険料負担が被用者保険より高く、これこそが国保の構造問題である。

今年4月からの国保都道府県化の狙いは、一般会計からの繰入金解消と療養給付費の抑制にあると思うが、これは住民負担を招くだけである。国庫負担の引き上げを求め、町独自の負担減免を考えるべきでは。

答弁 村瀬町長

少子高齢化による現役世代の負担増、年齢構成が高く医療費水準が高いなどの構造問題等を解決するため、都道府県化が開始された。本町では、長年一般会計からの赤字繰り入れに

年金生活者などの「無職」が約44%

世帯主の業職	農林水産業	その他自営業	被用者	その他業職	無職	被保険者中、65~74歳の割合
平成20年	3.4	17.3	33.7	6.0	39.6	28.8
平成28年	2.3	15.0	34.0	4.8	43.9	38.2

※国民健康保険実態調査(厚生労働省)より



まえざき 前崎 茂 議員

教職員の 時間外勤務の改善を

教育長

定数改善など 引き続き国に要望する

答弁 笹原教育長

国のプランでは活動などに支障が出る。北海道としても、今後の国の動向、学校の取り組み状況等によって見直しを図っていくことから、本町としては北海道のプランを参考に推進プランを作成したい。

質問 昨年12月にスポーツ庁は教職員の働き方改革として「運動部活動のガイドライン」を示し、部活動の休養日を週に平日1日、土日は1日以上、1日の活動時間は平日2時間、土日は3時間としたが、北海道のプランは国の基準を超えている。また、週60時間を超える教職員を縮減するとしているが、プラン通りの部活動を行えば過労死ライン(月80時間)を超える。

本町の小中学校教職員の時間外勤務の実態は、タイムカード等で把握しているのか。また、部活動の休養日の設定は、教職員数を増やさなければ、抜本的な解決にならないのか。

現在、時間外勤務の実態を数値では把握していない。今後、パソコンソフトの活用を検討している。また、部活動の休養日は平日週1日以上、土日・祝日は月1日以上に設定している。毎年、教職員の定数改善を国に要望しているが、児童生徒や教職員、地域などにとって、より良い学校環境となるよう、今

1日当たりの勤務時間 (持ち帰り業務含む)

単位 時間 : 分

区分	平日			土日		
	平成18年度	平成28年度	増減	平成18年度	平成28年度	増減
小学校	11:10	11:45	0:35	1:45	2:15	0:30
中学校	11:23	11:52	0:29	3:12	4:33	1:21

※正規の勤務時間は、平成18年度8時間、平成28年度7時間45分
平成28年度教員勤務実態調査(文部科学省調べ・速報値)より

後も文教施策の一つとして要望していく。

まえざき 前崎 茂 議員

町立病院の独法化 収支改善の見込みは

町長 現段階では、具体的な収支見込みは示せない

質問

有識者によるあり方検討委員会の答申を受け、町立病院の経営形態を「地方独立行政法人」に移行する方針が4月に示された。その後、5月に開催した議会報告会では、「内容がよくわからない」、「進め方が拙速ではないか」、「住民に事前に説明すべき」などの意見が多く出されたところである。

独法化によって医業収支比率・入院病床利用率など、財政収支計画等での目標数値はどのようになるのか。運営負担金にかかる繰出金の見込額は、また、職員の給与を保障するところがあるが、医療職給料表を準じて適用するのか。

答弁 村瀬町長

来年度以降、北斗病院の協力のもと、医師の確保、安定した医療の提供や効率的な病床管理によって収益確保を図り、医薬品等の購入方法の見直しなど、運営にかかるあら

ゆる支出の節減に努め、経営改善に取り組んでいく方針である。地方独立行政法人移行後の病院運営に関し、北斗病院と診療体制や病床の再編など協議を進めながら中期目標を定めたいが、その段階で具体的な収支見込みを示せる状況となるため、現時点では財政収支計画等の数値目標などは示すことができない。

職員給与については、職務に応じた給料表を適用し、移行前の給与を保障する考えである。



町民のニーズに応える病院経営を



おだ 小田雅二 議員

商品券の未使用を0に

町長 創意工夫しながら取り組んでいく

広尾町の主な商品券等交付事業

福祉灯油助成事業
冬期間の暖房用燃料確保が困難な世帯に灯油100リットル（生活保護世帯は60リットル）を限度に現物助成し、灯油以外を利用する場合は上記相当額の商品券を助成する
福祉・介護予防 ボランティアポイント制度
福祉・介護予防に関わるボランティア活動に対するポイントを付与し、10ポイント1000円で年間50ポイントを上限に地域振興券と交換する
敬老祝金贈呈事業
節目を迎えられる高齢の町民に対し、敬老祝金として商品券を贈呈する ◇喜寿1万円・米寿3万円・長寿10万円 (5万円は現金支給)

質問

本町では、敬老祝金をはじめ数種類の商品券を発行・配布しているが、しまい忘れや紛失などで未使用となってしまうものも少なくない。

未使用者へは個別に電話連絡するなど、利用率100%を目指して対応していると思うが、今後高齢化がさらに進んでいくことを考えると、喚起文書の送付や繰り返し電話はもちろん、他の対応策等も模索していくべきではないか。

答弁

村瀬町長

本町が行う商品券等の交付事業は左記の表のとおりであるが、約1割が未使用となっている。商品券の交付事業は、商店街で使用してもらい、町内経済の活性化を図る目的もある。

現在は防災無線等を活用し利用促進の周知を図っているが、今後は商品券の交付者全員を台帳管理し、個別に使用状況を確認しながら対応するなど検討している。

利用率100%を目指し、今後も創意工夫をしながら取り組んでいく。

おだ 小田雅二 議員

どう向き合おう？ 子どもの貧困へ

町長

質問

世界的に富裕層と貧困層の両極化が進み、格差社会が問題となっているが、日本においても20年以上続く経済不況、非正規雇用や母子家庭の増加等さまざまな要因が格差を拡大させている。

答弁

村瀬町長

現在、子どもの貧困調査で実態を把握し、本町の教育・福祉・労働等の施策における課題を確認する作業を進めている。

子ども食堂は、貧困対策だけでなく、

ひとりでの食事をする子どものためや子ども達の居場所・仲間づくりなどの目的があり、その多くがNPO法人やボランティアによって運営されている。

本町では、子どもの居場所づくりとして放課後児童クラブを

開所しているが、今後は全国の例を参考にしながら、子どもたちに夢と希望を与えるサンタランドのまちとして何ができるか検討していきたい。

GDP世界第3位の日本だが、貧困率は先進国30か国中第4位であり、子どもの貧困が社会的に大きな問題となっている。このような中、「子ども食堂」が全国に急速な広がりを見せている。子どもに夢を与えるサンタランドのまちである本町として、子どもの貧困にどう向き合っていくのか。

北海道には子ども食堂が81か所（札幌市を除く）
～開設目的「地域とのつながりづくり」が8割超

北海道 81か所

〈開設目的〉	複数選択
地域とのつながり	84.2%
貧困支援	69.7%
子育て支援	64.5%
孤食防止	64.5%

※子どもの居場所に関する実態調査（北海道）より



次のページは「臨時会・モニター会議」

第2回 臨時会 5/16

平成30年第2回臨時会
が5月16日(水)に開か
れ、専決処分承認、条
例改正、補正予算など
の議案8件を審議。いず
れも原案のとおり承認・
可決し、閉会しました。

国保税の改正

保険税賦課限度額の引
き上げや所得が低い世帯
への保険税軽減制度の基
準額を拡大します。
(4月1日から適用)

保険税賦課限度額の引き上げ

	基礎課税額	後期高齢者 支援金分	介護納付金分
29年度	54万円	19万円	16万円
30年度	58万円	19万円	16万円

※国の改正と同様に広尾町も改正しました。

低所得世帯への保険税軽減を拡大

	5割軽減の基準額	2割軽減の基準額
29年度まで	33万円+ 27万円 ×被保険者数	33万円+ 49万円 ×被保険者数
30年度以降	33万円+ 27万5000円 ×被保険者数	33万円+ 50万円 ×被保険者数

※今回の改正では、5割・2割軽減の基準額が拡大となりました。

問 地方税法は上限を規
定したものであり、
町独自で賦課限度額を下
げてはどうか。

答 国の基準どおり限度
額を引き上げたい。

問 国保税の負担を軽く
する努力が必要では
ないか。

答 平成12年度から税率
を引き上げず、被保
険者負担を抑えてきたが、
町の厳しい財政状況から
引き上げたい。

討 論

反対
前崎 茂議員

道内市町村の約2割が
限度額を国の基準より低
く抑えている。国が財政
支援をせず限度額を引き
上げるだけでは、国保財
政の窮迫は解決できない
と考え、本案に反対する。

《採決結果》

【賛成】 9
【反対】 3



税条例、都市計画 税条例の改正

地方税法の改正に伴い、
必要事項を改正しました。

【主な改正点】

① 町民税の非課税範囲を
引き上げ
非課税対象者の所得割
について、前年合計所得
金額を125万円から
135万円に引き上げる。

② 固定資産税(土地)の
負担調整措置
平成32年度まで現行の
負担調整措置を延長。

行政報告

工事等請負契約の締結

① ひろお保育園増築(園
舎) 工事
契約額 4460万4000円
契約の相手方 アカイ
シ建設(株)(並木通東2)
② 養護老人ホーム配管改
修工事
契約額 4413万9600円
契約の相手方 (有) 田
中建設(丸山通北7)

平成29年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑭	73億4364万円	1993万円	増
介護保険特別会計 ⑥	6億8111万円	※増減なし	
財源内訳の補正			

平成30年度 補正予算の内訳

一般会計 ①、②	75億6890万円	690万円	増
----------	-----------	-------	---

※会計名の後の丸数字は補正回数
(1万円未満切り捨て)

火災の発生

4月30日に豊似地区の
トヨイベツ原野から野火
火災が発生。

4月1日付人事異動

発令件数100件のうち、
昇格13人(課長職4
人、課長補佐職4人、係
長職5人)、新規採用職
員5人、再任用職員1人、
職員数194人。

③ 人工造林(特殊地帯)
事業その2
契約額 4028万4000円
契約の相手方 広尾町
森林組合(西2条6)

負傷事故の発生

4月28日、鉄道記念館
敷地内の屋外展示物「転
てつ機」のレバーが倒れ、
観光に訪れていた児童が
全治2週間のケガを負った。
事故発生後、各公共施
設の安全点検を行った。

平成30年 第2回臨時会 議案審議結果

●賛否のあった議案(議案名は一部省略しています)

賛成:○ 反対:× 欠:欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	こだ	おだ	旗手	浜頭	堀田	
国保税条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	-	可決 (9-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。



今臨時会で任期満了に伴い、各常任委員会、議会運営委員会の
委員を選任しました。
委員会構成については、6月1日発行の議会だより第186号の
21ページに掲載しています。

モニターからの 意見を

議会運営に反映

～議会モニター会議 を開催～

7/23



議会モニター4人、議員7人が出席して、議会・議員活動や議会運営などについて意見を交換しました。

なお、現在のモニターは6人（酒井敏夫さん、下森孝俊さん、石原由紀江さん、會川英二さん、大庭ひとみさん、菊地亜希さん）で、任期は平成31年5月まで（2年間）です。

※意見は抜粋して掲載しています。

議会基本条例の 検証・評価

酒井 なぜ平成28年改選期後にこの条例の研修を行わなかったのか。

議会 平成27年に条例を制定したが、実際には具体的な取り組みを開始しておらず、改選期直後は研修を行う体制になかったため。

下森 「懇談会の目標回数（3班集体・1班年4回）が多すぎる」との評価になっているが、議会改革を進めるためにはもっとたくさん開催すべきでは。

議会 懇談する団体との調整がうまくいかず、平成29年は各班1回の開催であった。ほかの団体を探するなど、努力が足りなかったと反省している。実施に向け検討していく。

議会の傍聴

酒井 傍聴者もインターネット中継の視聴者も少ないのは、町民の関心が低いという表れ。関

心を引く方法を考えることが必要。

下森 議場は独特の緊張感がある。役場職員や議員の視線も気になる。

議会 職員（説明員）はどうしても多くなるため、議員でも最初は緊張する。最近では、町内会女性部などの団体で傍聴に来るケースも増えており、気軽に傍聴できるように考えていく。

その他

大庭 いつも同じ人が一般質問を行っている。ほかの議員の考えが聞きたい。

議会 一般質問は町民の意見を議会で発言する大事な機会であり、重要な議員活動の一つである。今後、議員間で話題にさせてもらう。

石原 今はネットでさまざまなことが調べられるため、議会図書を購入など、予算を削減できることはしてほしい。

議会はどこからでも傍聴できます

仕事の合間に

ご友人と

団体などで

町議会を見に来ませんか

手続きは簡単

役場の3階にお越しください

「傍聴人入口」で住所氏名を記入

傍聴席へどうぞ！席は自由です

次回
定例会は
9月上旬
開会予定



6 / 7 6丁目町内会女性部が議会を傍聴

6丁目町内会女性部（山岸千栄子部長）16人が、6月定例会初日に行われた国保病院の独法化に向けた定款の制定などの議案審議を傍聴に訪れました。国保病院や町政への関心の高さを伺うことができました。

※団体で傍聴を希望する方は、議会事務局にご連絡ください。（TEL2-0181）

次のページは「議会報告会」



5月28日のコミセン大ホールは全議員が出席

今年度も議会報告会を開催

より開かれた
議会に

より開かれた

議会・議員活動や議会での審議内容を町民の皆さんへお知らせする「議会報告会」を5月22日、28日の2日間、町内3会場で開催し、74人に参加いただきました。

今年は、主に「国保病院のあり方」や「議員定数・報酬」をテーマに意見交換を行いました。

ここでは、当日会場やアンケートでお寄せいただいた皆さんの意見を抜粋してご紹介します。

※開催日、会場、出席議員、参加人数については7月発行の「議会速報第39号」に掲載しています。

会場アンケートでの意見

- 町の財政状況がよくわかり、大変良かったと思う。
- 町長へのイエスマンの議員が多いのではないかと。町政への厳しい姿勢が必要だと思う。そのことが町民の信頼を得る道筋だと思う。
- 今年の報告会のテーマとして「国保病院のあり方」があり、町民の命と健康を守る、とても重要な事柄である。議員個々がより多くの町民が参加するような働きかけが必要だと思う。
- ますます町民に親しみやすい議会になってほしい。もう少しソフトな雰囲気でも良いのでは。
- 町政について考える良い機会だった。
- 広尾市街地区の参加者を増やすためには、日曜日の開催も考えてみては。
- 町の財政状況を病院を例に親切に説明してくれたと思う。説明もはっきりとしていてわかりやすかった。

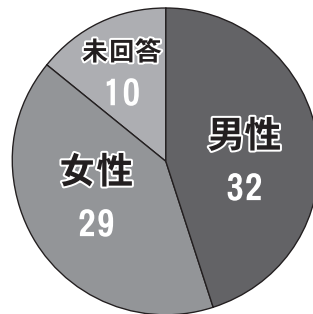
- 意見交換は、テーブルを囲んで顔が近く話しやすかった。
- もう少し時間をかけて話を聞きたかった。
- 開催日時をもう少し考えてみてはどうか。



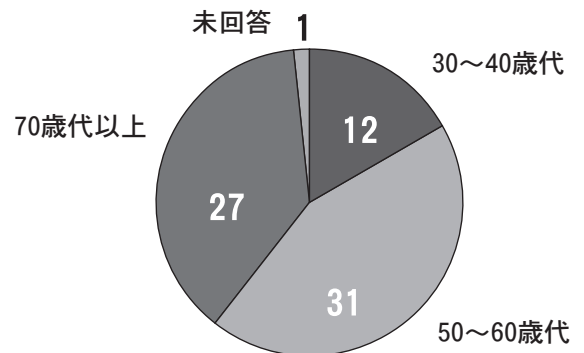
グループで意見交換（5月22日・音調津会場・担当1班）

参加者の内訳	
参加者数	74人
アンケート回答者数	71人
回答率	95.9%

性別 (単位：人)



年齢 (単位：人)



当日会場で出た意見



全体で意見交換 (5月22日・豊似会場・担当2班)

【国保病院のあり方】

- 病院を存続するのが一番だと思う。どうすれば安心した診療を提供できるのかなど、これまでに医師や看護師などが改善策を議論したことはあるのか。
- 「町立病院がなくなるのか」「入院ベッドはなくなるのか」と心配している。
- 診療所化になっても病床数はある程度確保できるのでは。
- 昔から「患者が集まらない」「医師が見つからない」と大変だった。信頼が得策かなと思う。
- 地元の病院にかかりたいが、看護師の対応などで他の病院に行っている人もいる。経営のやり方もあるが、改善して欲しい。
- 看護師などの身分の確保を検討してほしい。
- 町民の健康を守るためにも病院はなくしてはいけない。

- 一日も早く大きい病院と提携してほしい。
- 独法化が良いものなら、どうして他町村の病院はやらないのか。
- 住民説明は決まった後では遅い。
- できるだけ良い医師の確保に力を入れてほしい。

【議員定数・報酬】

- 人口によって議員定数を決めるのが妥当。他町村と比較すべき。
- 報酬を引き上げるのは、厳しい町の財政状況から町民負担が増えるのでは。
- 人口規模と他町村の状況から、現在の定数(13人)が適正ではないか。
- 一般質問をしていない議員がいる。定数の問題にかかわってくるのでは。
- 議員のなり手不足問題を議会はどう考えているのか。
- 前回の選挙(平成28年)は無投票であった。選挙はあった方が良くと思う。

【その他】

- 公衆浴場の利用者が最近少なくなっている。入浴料金の値上げで、家族で行くと高額になるため、行けなくなった人が多いのではないか。
- コミュニティ・スクールのアンケートの内容(問い)は広尾町の事情とかけ離れている。



次のページは
「議会日誌・ざかいトピックス」

議会活動日誌

平成30年6月～8月

【6月】

- 4日 第6回議会運営委員会
- 6日 畜魂慰霊祭
十勝圏活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 7日 第2回広尾町議会定例会（～11日）
第2回議員定数等に関する調査特別委員会
第4回議員協議会
- 10日 オンガクな150年♪～和太鼓公演～
- 11日 議会広報編集会議
- 12日 北海道町村議会議長会定期総会（～13日・札幌市）
- 21日 十勝港まつり協賛会代表者並びに執行者会議
- 24日 衆議院議員 石川香織野遊会（帯広市）
- 28日 広尾町自衛隊協力会通常総会

【7月】

- 1日 広尾町消防団広尾分団団員家族パークゴルフ大会・懇親会
- 3日 北海道町村議会議長会による「全道議員研修会」（～4日・札幌市）
- 6日 広尾町殉公者追悼式
- 10日 広尾警察署音調津駐在所の早期改築に関する要請活動（札幌市）
- 15日 社明道東剣道大会
- 18日 浦幌町議会活性化フォーラム（浦幌町）
- 20日 広尾町企業等誘致促進期成会総会
広尾町地域開発推進協議会総会
- 22日 北海道議会議員 池本柳次後援会南十勝パークゴルフ交流会
- 23日 第1回議会モニター会議
- 24日 自民党北海道第11選挙区支部「地域政策懇談会」
広尾高等学校存続対策協議会
- 26日 広尾地区暴力追放運動推進協議会定期総会
- 28日 J Aひろお創立70周年記念「広尾町農村運動会」

- 30日 クルーズ船「飛鳥II」十勝港寄港に伴う歓迎セレモニー

【8月】

- 3日 ミサイル艇「わかたか」十勝港入港歓迎式
- 5日 北海道150年記念式典（4日～・札幌市）
- 6日 魚霊祭
- 7日 無縁仏供養祭
特養、養護老人ホーム 合同夏祭り
- 9日 第3回総務常任委員会
議会広報編集会議
広尾高等学校存続対策町民総決起集会
- 14日 町民仮装盆踊り大会
- 16日 第4回議会広報特別委員会
- 21日 第3回産業常任委員会
- 22日 議会広報研修会（21日～・札幌市）
北海道議会議員 喜多龍一政経セミナー（幕別町）
- 23日 十勝町村議会議長研修会（大樹町）
- 24日 さげます神社秋季祭典
南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 30日 広尾高等学校の存続に係る北海道教育委員会への要請活動（札幌市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成30年第3回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①養護老人ホーム・特別養護老人ホームの現状について
- ②南十勝環境衛生センターの今後の展望について

◇産業常任委員会

- ①増養殖事業の取り組みと現状について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長との諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

7/3 全道町村議員が一堂に会し研修

北海道町村議会議長会による「全道議員研修会」が札幌市で開かれ、議員10人が参加しました。

この研修会は毎年7月上旬に開催されており、今後の議員活動に役立てることを目的に毎年参加しています。

研修会では2人の講師による講演が行われました。講師とテーマは次のとおりです。



◇歴史家・作家
加来耕三氏
←「明治維新から150年、
現在そして未来を考える」



◇日本大学法学部教授
岩井奉信氏 →
「現代日本政治と政局の
ゆくえ」

8/14 揃いの浴衣で盆踊り

広尾町議会議員会（渡辺富久馬会長）では、毎年お盆に開かれる「町民仮装盆踊り大会」に参加しています。

今年も議員10人が揃いの浴衣に身を包み、広尾の夏を彩るイベントと一緒に盛り上げました。

